

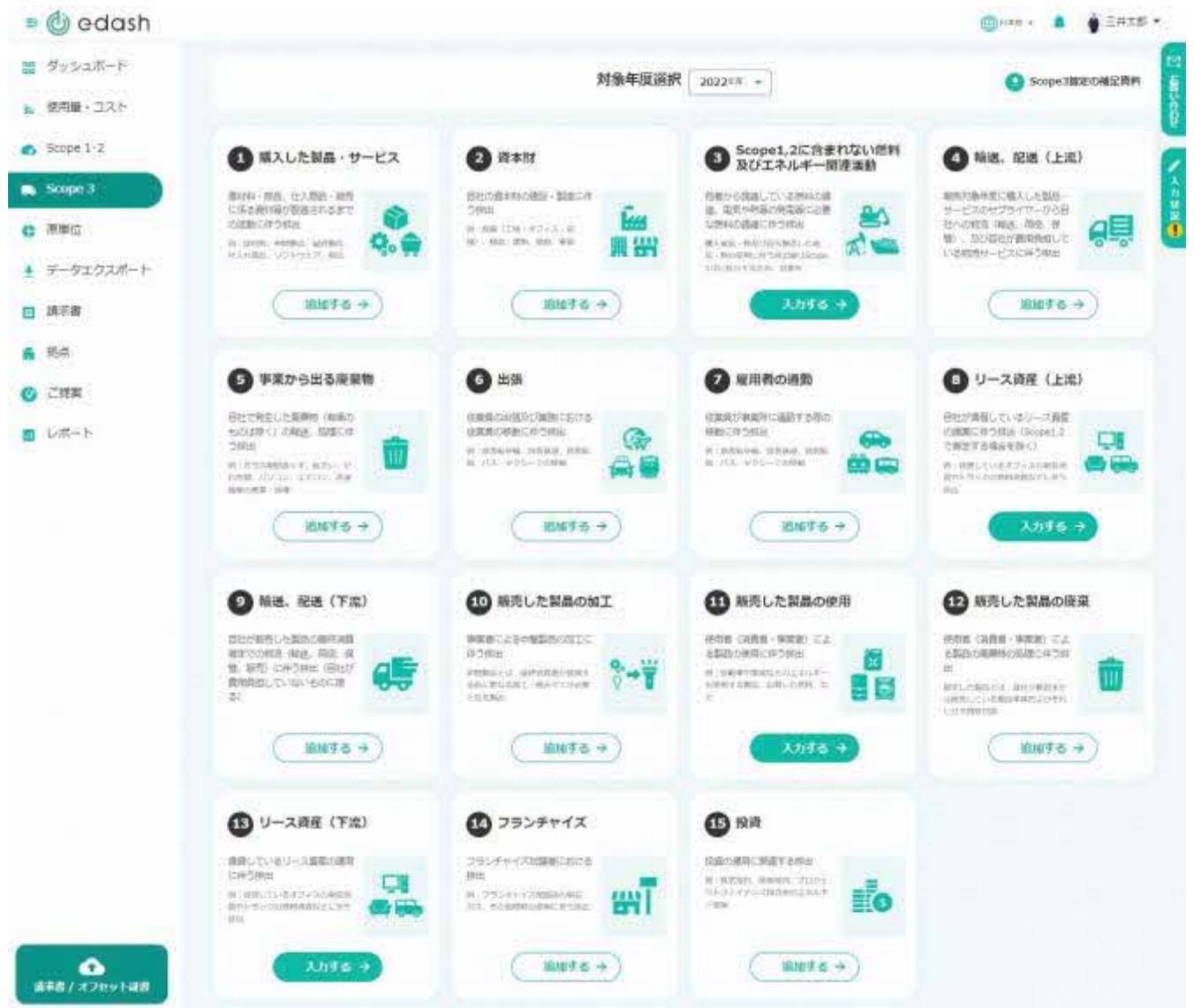
CO₂排出量の可視化（Scope 3）

複雑なScope 3の算出もe-dashが分かりやすくガイド

- オプション機能としてのご提供（追加課金対象）
- 算出方法：お客様が入力する活動量に、環境省が定める排出原単位をe-dashが適用して算出
- 排出原単位：すべてe-dash側でマスターデータとして保有
- 対象：カテゴリー1～15すべて
- 管理方法：全社合計

Scope 1・2・3排出量をすべてe-dash上で算出・管理可能

Scope 3 (ご契約頂いた場合の表示画面)



CO₂排出量の削減

排出量削減のための具体的な方法を提案し、各種施策の実行を支援します

【e-dashから随時お客様へご提案させていただくサービス】

- よりコスト競争力のある電気小売事業者のご提案
- より排出係数の低い電気の契約プランのご提案（再エネプランなど）
- 環境証書を用いたCO₂排出量のオフセット

【お客様のご要望を踏まえてご提供するサービス】

- 省エネ機器や、屋根置き太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの導入支援

パートナーシップを拡充し、お客様とパートナー企業がe-dashを通じつながるプラットフォームへ。

その他の機能

- データ入力状況の管理画面：データがe-dash上にそろっているか、ひと目で確認可能
- アップロード可能なファイル形式：請求書のPDF以外にエクセル（CSV）のアップロードも可能（Scope 1・2関連の場合。Scope 3もCSVに対応予定）
- 多言語表記：日本語、英語（一部調整中。他言語も順次対応予定）
- オフセット証書のデータ反映：Scope 1・2の画面でオフセット効果を可視化
- CO₂排出量削減の目標設定・管理：Scope 1・2について基準年と削減目標を設定し、実績管理も可能



請求書アップロードさえ不要なCO₂排出量の可視化

- e-dashと、Sansan株式会社が提供するクラウド請求書受領サービス「Bill One」がデータ提携
- Bill Oneで受領するエネルギー関連の請求書データをe-dashに連携することで、e-dashへの請求書アップロードの手間を削減し、さらに効率化されたCO₂排出量の自動算出を実現
- **請求書関連業務のDX化をBill Oneで行いながら、CO₂排出量の算出・可視化までシームレスに実行**



※Bill Oneとe-dashそれぞれのご契約が必要です

追加の機能・サービス

e-dashは、新しい機能やサービスを継続的に検討・開発・リリースする、アジャイル型の開発で進んでいます。

だから、この資料で紹介している内容はあくまでも資料作成時点のもの。

ご利用頂くお客様のご意見やフィードバックも踏まえながら、より便利で意味のあるサービスを目指し、進化し続けていきます。





MITSUI & CO.

e-dashは、 三井物産の新たな挑戦です。

2050年カーボンニュートラルを目指し、
「環境と調和する社会」をみんなで作るため。

世界各地で培ったノウハウを総動員して、お客様と長く寄り添い、
取り組みを支援します。

社会からの評価

三井物産は国内外のESG投資指数に選定されるなど、サステナビリティへの取り組みが
社会から評価されています。

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM



さあ、e-dashとはじめよう



<https://e-dash.io/>

